



2022
盛岡誠桜高等学校
令和4年
7月6日発行
vol.2

陸上競技部《短距離・長距離》



キャプテン 普通科3年

小倉 侑奈(高沢中出身)

今大会では三種目で東北大会出場を決めました。自分の力を出しきれた人もいるですがチーム全体としてはとても悔しい結果でした。東北大会はインターハイに残る大事な大会になるので良いコンディションで臨めるよう今まで以上に真剣に練習に励みたいです。最高のレースをして、村上先生、眞野先生、家族に恩返しできるように頑張ります。応援ありがとうございます。

県大会成績
東北大会出場

200m 6位 小倉 侑奈(高沢中出身)
走り幅跳び 6位 阿部 南美(城西中出身)

優勝
3000m
岩手県
高総体

普通科3年
福田 杏理(仙北中出身)
私は女子3000mに出場し優勝し、東北大会への出場権を獲得する事が出来ました。レース序盤は積極的に前に出ることが出来ず、スローペースになってしまいました。しかし「絶対に一位を獲る」という強い気持ちでラストスパートをかけ一位でゴール出来ました。東北大会では弱気にならず最後まで粘り強く走りインターハイを目指し頑張ります。

陸上競技部 田中希歩

インターハイ出場!

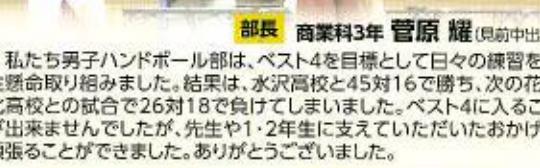
800m 優勝 田中 希歩(矢巾中出身)
2分07秒88 / 大会新記録
4分25秒70 / 大会新記録
県高校記録
1500m 優勝 田中 希歩(矢巾中出身)
3000m 優勝 福田 杏理(仙北中出身)

200m 6位 小倉 侑奈(高沢中出身)
走り幅跳び 6位 阿部 南美(城西中出身)



男子ハンドボール部

Best
8



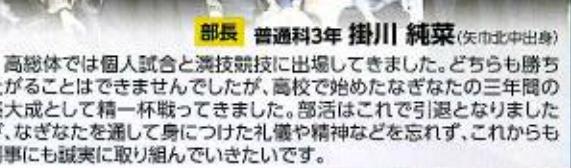
女子ハンドボール部

ソフトテニス部

部長 普通科3年
仙木 春菜(西沢中出身)

監督が仕事でなかなか来られない日々が続き、部員二人で活動してきたため何度も辞めようか考えたこともあります。私たち二人の諦めない力は誠桜の誰よりもついたと自信を持って言えます。そして、監督のおかげでここまで強くなれたと思います。インターハイは行けませんでしたが、この3年間で自分達自身成長できたと感じています。監督や支えてくださった方々、これまで本当にありがとうございました。

なぎなた同好会



部長 普通科3年
掛川 純菜(矢巾中出身)

高総体では個人試合と演技競技に出場してきました。どちらも勝ち上がることはできませんでしたが、高校で始めたなぎなたの三年間の集大成として精一杯戦ってきました。部活はこれで引退となりましたが、なぎなたを通して身につけた礼儀や精神などを忘れず、これからも何事にも誠実に取り組んでいきたいです。

卓球部



部長 商業科3年 今川 太希(高沢南中出身)

今回の高総体は3年生にとって最後の大会でした。私たちはベスト16を目指してきましたのですが、男女とも満足のいく結果は残せず悔しい気持ちもあります。でも、最後まであきらめず練習してきたプレーを思い出しながら試合できたのでよかったです。3年生が引退し1年生3人だけになりますが、これから目標を持って頑張ってほしいです。先生、メンバーのみなさん支えてくれてありがとうございました。



部長 普通科3年
畠山 風香(高沢中出身)

弓道は団体戦ではありますが、自分との戦いだと思います。その中で1人1人が課題を持ち高総体に臨みました。悔しい結果とはなりました。自分自身がどれだけ向き合い最後までやり切れたかが大事だと思います。また、これまで指導してくださった先生、一緒に練習してきた3年生、頼りない私についてくれた後輩に感謝します。ありがとうございました。2年と少しでも楽しい部活動でした!



キャプテン 普通科3年
高橋 星太(高沢中出身)

今回の高総体は一部を除いて3年生最後の大会でした。一回戦は花巻北高校と戦いました。コートでは自分達のバスケを貫き二、三年生力の限り頑張りましたが、一回戦敗退という残念な結果に終わりました。しかし、3年生七人全員が試合に出場し、全員がリングにシートを収めました。高総体を終えて、二年生には、新人戦で一つでも多くの試合をして、良い結果を残してほしくて頑張ってもらいたかったです。



キャプテン 普通科3年
似内 奈央(高沢第一中出身)

今回の高総体は3年生最後の大会でした。初戦は金ヶ崎高校と戦いました。序盤は緊張で思うようなプレーができず相手のベースに飲まれていましたが、中盤から自分たちのバスケができ、初戦突破を果たすことができました。2回戦の一回戦紅高校戦は悔しい結果となりましたが、全員諦めず戦いきました。約2年間、大変なことは沢山ありました。それ以上に楽しい事が多く、みんなで支え合って頑張ってもらいたかったです。



男子硬式野球部

主将 普通科3年 藤村 大鷲(高沢南中出身)

自分達男子野球部は、春の県大会に出場してきました。初戦は、一関工業高校に5-4で勝ち、ベスト16に進出しました。2回戦では、盛岡第四高校に8-4で負けてしまいましたが、最後の夏の大会に繋がるいい経験が出来ました。7月中旬に行われる夏の大会に向けて3年生はラスト1ヵ月頑張っていこうと思います。



女子硬式野球部

キャプテン 普通科2年 真石 美緒(高沢中出身)

私たち女子硬式野球部は、7月22日(金)~8月2日(火)の期間に兵庫県丹波市で開催される全国大会に出場してきます。大会初出場で初戦の相手が強豪校との対戦になります。私たちの目標はベスト16に入ることなので、初戦からひります、練習で行ったことを十分に発揮して勝利をおさめられるよう精一杯頑張ってきます。そして、盛岡誠桜高校という名を広め、後輩を一人でも喜ばせるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

高総体

第74回 (5/19~5/31)
岩手県高等学校
総合体育大会

東北大会出場!
陸上競技部



キャプテン 普通科3年
熊谷 真伶(高田第一中出身)

今大会では、決勝戦で自分達の詰めの甘さが出てしまい、納得のいく結果とはなりませんでした。また、これまでの練習に対する姿勢や私生活からもう一度振り返り、個々としてもチームとしても強い盛岡誠桜を創っていくたいと思います。そして、11月の春高予選に向けて、日々の練習から支えてくださった方々への感謝を忘れず、我武者羅にプレーすることで、目標である全国ベスト8以上を達成出来るよう頑張っていきます。



キャプテン 普通科3年 佐藤 一空(仙北中出身)

今回の高総体では、準決勝の花巻東戦で0対3、三位決定戦の盛岡商業戦で0対5で負けてしまい4位という結果になりました。個人個人の能力や最後まで走りきる力が相手の方が上だったと思います。今回の高総体で得た課題を修正し選手権では絶対に県優勝出来るようにチーム一丸となって厳しい練習にも負けずに頑張っていきたいと思います。



キャプテン

普通科3年

藤原 樹

(高波第一中出身)

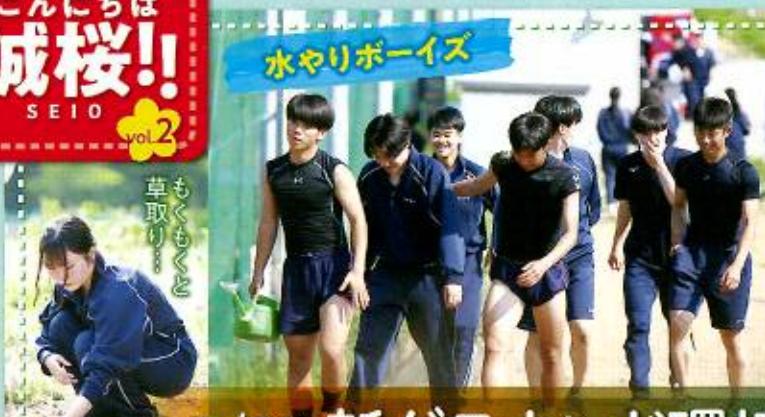
今大会は、盛岡工業に2-0、千厩に2-0勝ち、水沢工業には0-2で負けてしまい、ベスト8という納得のいかない結果となりました。プレー面では、攻撃はしっかりと決まっていましたがサーブとブロックの弱さを実感した大会となりました。この課題を一人一人がさらに意識して練習に取り組み課題を克服して、春高県大会で必ずリベンジしたいと思います。



部長 普通科3年
掛川 純菜(矢巾中出身)

高総体では個人試合と演技競技に出場してきました。どちらも勝ち上がることはできませんでしたが、高校で始めたなぎなたの三年間の集大成として精一杯戦ってきました。部活はこれで引退となりましたが、なぎなたを通して身につけた礼儀や精神などを忘れず、これからも何事にも誠実に取り組んでいきたいです。

水やりボーイズ



5/25 新グラウンド環境整備・学校造園活動



進学課外始めました

生徒の進学保証のため、今年度から月曜と木曜の放課後を利用して実施します。その間、部活動を停止し、課外終了後、部活動を一斉に始めます。そして、部活動と進路の両方を保証します！

- 「大学・短大看護医療クラス(α・β)」
- 「産技短クラス」
- 「公務員クラス」



5/12

看護の出前授業

実際に働いている方からお話を聞いて、やりがいや大変なことを知ることができます。自分の心臓の音を聞くのは初めてだったので感動しました。他の体験もなかなかできないことばかりだったので、すごく良い経験ができたなと思います。医療系の仕事に就きたい気持ちが強くなりました。ありがとうございました。(3年生女子生徒)



保育士専攻科 『子ども未来学科』

~子どもの大好きな新聞紙遊び♪~



英会話専科 TOEIC Bridge Listening & Reading Tests

日常生活に活きる基礎的な英語力を測るテストです



専攻科菜園 ~今年度から1・2年生一緒に活動しています!~



ー新専科ー 『英会話専科』 『調理師パティシエ専科』

メニューが豊富♪



ー新専科ー 『公務員予備校専科』

《今後の受験日程》
7/ 3 国立大学法人 一次試験
9/ 4 国家公務員一般職 一次試験
9/18 岩手県警察・市町村事務・消防官 一次試験
9/25 岩手県職員II種・III種 一次試験

試験に向けて日々奮闘中!!

6/15

『庖丁式』

於:盛岡八幡宮

(高倍神社例大祭庖丁塚供養)

千葉 輝良(上田中出身)

盛岡八幡宮で行われた包丁式に参加しました。「クラス全員で調理師免許取得」の願いを込めた絵馬を奉納してきました。また、玉串奉奠と庖丁供養という貴重な体験をしていただき、この供養は、使い古された庖丁だけではなく、庖丁によって調理された尊い靈を供養する意味もあることがよく理解できました。いただいた命を人間の命と同じように心を込めて供養する。この行事から、日本の食文化の一端を垣間見ることが出来ました。

